

稲穂

豊崎小学校 校長室通信

令和2年 11月20日

第20号 文責 町田晋一

朝のあいさつに変化が…

毎朝、玄関で子どもたちを迎えているのですが、今年になってだんだんと子どもたちのあいさつに変化が見られるようになってきました。それは、自分からあいさつができるようになり、しかもかなり離れた場所から元気な声で「おはようございます！」と言える子が増え、今ではほとんどの子どもたちが自分からあいさつができるようになりました。

担任の先生から呼びかけてもらったり、6年生の取組があったりした成果だと思っています。そして、大切なことは、以下の3点で、子どもたちが①自分



から、②気持ちよさそうに、③大きな声を出してあいさつをすることができるようになったことだと思っています。

自分からあいさつをすることの心地よさを体得し、すがすがしい気持ちで学校生活をスタートさせる子どもたちが増えたことはとても素晴らしいことだと思っています。

成長したお子さんを、

ぜひほめてあげてください！！

今、挑戦していること

学校では、昨年度の2学期から、全児童が自分は何を頑張るのかを担当と相談し、その内容を個別のシートに記録しながら、できるようになったことを記録していく取組を行っています。2学期も折り返し地点を過ぎ、今学期の締めくくりとしての取組が進んでいます。ここで、何人かの取組をご紹介します。

〈1年生〉・たくさん手を挙げる・言葉遣い(チクチク言葉を意識する)

〈2年生〉・時間内の完食(給食)・忘れ物を少なくする工夫

〈3年生〉・あきらめずに取り組む・宿題の字を丁寧に書く

〈4年生〉・係や委員会の仕事を忘れない

・都道府県の場所、漢字を覚えたい

〈5年生〉・周囲への助け合いの心をもつ・大きな声で発表したい

〈6年生〉・自分のやるべき事を先にする・学級での仕事を自分で探す

・友達と協力できるよう、自分から声をかける です。

一人ひとりの児童が、どうすればできるようになるのかを考え、日々意識しながら生活しています。できるようになることは大切ですが、できるようになろうと考えたり、悩んだりすることはもっと大切だと思っています。努力する過程を応援したいと思っています。そして、結果につながる事を願っています。

